

[特集]

サービス産業の国際競争力

日本の労働生産性は、「主要先進7ヶ国中11年連続して最下位」、「特にサービス産業が低い」。各種調査で明らかにされているが、一方で、日本のサービス産業の品質は国際的に高いとの指摘も多い。このように、日本のサービス産業にとり、品質と付加価値のバランスをいかにデザインするかが課題となる。

ボーダーレス化が進展し、もはや自国のマーケットを理解できるのは自国企業だけであると言い切れない中で、この課題にいかにして応えるか。今回の特集では、この課題解決のヒントとなるべく、「日本のポップパワー」「米国サービス産業の潮流とそこから得られるもの」「海外を市場として捉えたサービス産業の進出事例」という3つをテーマとして取り上げた。

C O N T E N T S

- 日本のポップパワー
中村伊知哉 …… 4
- 米国サービス産業の潮流とそこから得られるもの
村田 裕之 …… 8
- 海外を市場として捉えたサービス産業の進出事例
櫻井 渉 …… 12